



## 2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月13日

上場会社名 株式会社さくらさくプラス 上場取引所 東  
コード番号 7097 URL <https://www.sakurasakuplus.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 義隆  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 中山 隆志 TEL 03-5860-9539  
四半期報告書提出予定日 2024年3月13日 配当支払開始予定日 2024年4月15日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第2四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	7,108	8.1	209	883.9	186	202.6	196	—
2023年7月期第2四半期	6,576	17.5	21	△73.6	61	△43.3	2	△95.9

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 196百万円 (—%) 2023年7月期第2四半期 3百万円 (△94.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	43.71	42.40
2023年7月期第2四半期	0.57	0.55

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	15,316	4,994	32.5
2023年7月期	14,488	4,942	34.0

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 4,972百万円 2023年7月期 4,920百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2024年7月期	—	8.00	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	23.5	580	84.5	650	19.7	500	53.5	113.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日開示の「通期業績予想の修正（上方）に関するお知らせ」を合わせてご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期2Q	4,514,800株	2023年7月期	4,513,900株
② 期末自己株式数	2024年7月期2Q	123,500株	2023年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期2Q	4,503,984株	2023年7月期2Q	4,503,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2024年3月13日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により感染対策が個人の判断に委ねられ、社会活動に正常化の兆しが見え始め、インバウンド需要をはじめとする消費の回復など、景気の回復に動きがみえはじめました。その一方、長期化するウクライナ情勢、エネルギー価格の高騰や円安傾向による消費者物価の継続的な上昇、さらに10月からのイスラエルとハマスを巡る関係諸国の動向などにより、国内景気は依然、先行き不透明な状況にあります。また、厚生労働省の人口動態統計速報値(2023年12月分)によると、2023年の出生数は前年に比べて5.1%減少(4万1,097人減少)の75万8,631人で、8年連続減少の過去最小となりました。さらに、婚姻数も5.9%減少の48万9,281組で90年ぶりに50万組を割り、少子化は政府の想定より速いペースで進んでいます。

当社グループを取り巻く事業環境においては、2023年4月1日に発足した「こども家庭庁」が、「こども未来戦略方針」を2023年6月13日に閣議決定しました。この方針には、若い世代の子育て支援を目的とした、児童手当の拡充や妊娠期からの切れ目のない支援の拡充のほか、全ての子育て家庭を対象とした「こども誰でも通園制度(仮称)」の創設が盛り込まれ、その本格実施を見据えた試行的事業実施の在り方に関する検討が進んでいます。また、保育事業者などに対しては幼児教育および保育の質の向上を目的とした75年振りの配置基準の改善や保育者などへの処遇改善が盛り込まれ、少子化対策の推進が具体的に示されています。

このような環境下、子ども・子育て支援事業を展開する当社グループにおいては、株式会社さくらさくみらいで運営する保育サービスを中核とし、子育て支援カフェ「みらいのテーブル」の運営や保育サービスのICT化を推進した子育て支援サービスの充実、子育て支援住宅の企画・開発、進学塾の運営、保育業界に向けたeラーニングによる豊富な研修コンテンツの提供など、子どもや子育て家庭とその周辺の皆さまへのサポートを強化し、安心と安全を提供すべく事業活動を推進しております。

なお、当連結会計年度においては、2024年4月1日の1施設の東京都認可保育所の開設が確定しております。

(2024年4月開園予定)

さくらさくみらい パークタワー勝どき(中央区)

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,108百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益209百万円(同883.9%増)、経常利益186百万円(同202.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益196百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円)となりました。

なお、当社グループは子ども・子育て支援事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、4,450百万円となり、前連結会計年度末と比べて428百万円増加しました(前連結会計年度末比10.6%増)。これは主に、現金及び預金が330百万円増加したことによるものです。固定資産は、10,865百万円となり、前連結会計年度末と比べて399百万円増加しました(前連結会計年度末比3.8%増)。これは主に、有形固定資産のうちその他に含まれる土地が459百万円増加したことによるものです。この結果、資産合計は15,316百万円となり、前連結会計年度末と比べて827百万円増加しました(前連結会計年度末比5.7%増)。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、3,803百万円となり、前連結会計年度末と比べて477百万円増加しました(前連結会計年度末比14.4%増)。これは主に、短期借入金が582百万円増加したことによるものです。固定負債は、6,518百万円となり、前連結会計年度末と比べて298百万円増加しました(前連結会計年度末比4.8%増)。これは主に、不動産の取得のための借入れにより、長期借入金が377百万円増加したことによるものです。この結果、負債合計は10,322百万円となり、前連結会計年度末と比べて776百万円増加しました(前連結会計年度末比8.1%増)。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,994百万円となり、前連結会計年度末と比べて51百万円増

加しました（前連結会計年度末比1.0%増）。これは主に、自己株式の取得118百万円をしたことによる減少の一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を196百万円計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて330百万円増加し、1,074百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは317百万円の収入となりました（前第2四半期連結累計期間は683百万円の支出）。これは主に未収入金の増加額259百万円による資金減少があったことによる一方、税金等調整前四半期純利益180百万円の計上や減価償却費283百万円の計上による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは756百万円の支出となりました（前第2四半期連結累計期間は1,060百万円の支出）。これは主に有形固定資産の取得による支出707百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは769百万円の収入となりました（前第2四半期連結累計期間は1,442百万円の収入）。これは主に長期借入金の返済による支出280百万円があった一方で、短期借入金の純増加額582百万円や長期借入れによる収入635百万円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想については、2023年9月12日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正（上方）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	752	1,083
仕掛販売用不動産	1,482	1,482
未収入金	1,328	1,471
その他	459	413
流動資産合計	4,022	4,450
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,872	7,744
その他（純額）	1,330	1,811
有形固定資産合計	9,202	9,556
無形固定資産	375	368
投資その他の資産	886	941
固定資産合計	10,465	10,865
資産合計	14,488	15,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,440	2,023
1年内返済予定の長期借入金	505	483
賞与引当金	216	219
その他	1,162	1,077
流動負債合計	3,325	3,803
固定負債		
長期借入金	3,639	4,016
繰延税金負債	2,444	2,376
その他	136	126
固定負債合計	6,219	6,518
負債合計	9,545	10,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	580	580
資本剰余金	766	766
利益剰余金	3,573	3,743
自己株式	—	△118
株主資本合計	4,920	4,972
非支配株主持分	22	21
純資産合計	4,942	4,994
負債純資産合計	14,488	15,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
売上高	6,576	7,108
売上原価	5,911	6,135
売上総利益	665	972
販売費及び一般管理費	644	763
営業利益	21	209
営業外収益		
補助金収入	186	—
持分法による投資利益	14	8
その他	13	5
営業外収益合計	214	14
営業外費用		
支払利息	22	24
開業準備費	73	0
支払手数料	73	6
その他	5	5
営業外費用合計	174	37
経常利益	61	186
特別利益		
受取保険金	45	—
特別利益合計	45	—
特別損失		
災害損失引当金繰入額	72	—
固定資産除却損	—	5
その他	0	—
特別損失合計	73	5
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	33	180
匿名組合損益分配額	3	—
税金等調整前四半期純利益	30	180
法人税等	26	△15
四半期純利益	3	196
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2	196

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	3	196
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	0	—
四半期包括利益	3	196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2	196
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	30	180
減価償却費	268	283
固定資産除却損	—	5
のれん償却額	—	9
受取利息及び受取配当金	△4	△0
補助金収入	△186	—
受取保険金	△45	—
支払利息	22	24
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	2
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	72	—
未収入金の増減額 (△は増加)	△422	△259
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△299	△0
その他	△175	43
小計	△759	280
利息及び配当金の受取額	4	0
利息の支払額	△22	△24
補助金の受取額	186	—
保険金の受取額	45	—
法人税等の還付額	—	116
法人税等の支払額	△138	△54
営業活動によるキャッシュ・フロー	△683	317
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△985	△707
無形固定資産の取得による支出	△65	△26
その他	△9	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,060	△756
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,186	582
長期借入れによる収入	602	635
長期借入金の返済による支出	△308	△280
株式の発行による収入	11	0
自己株式の取得による支出	—	△118
配当金の支払額	△22	△26
その他	△26	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,442	769
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△301	330
現金及び現金同等物の期首残高	1,351	744
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,050	1,074



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。